色彩教材研究会通信　No.301　2022.9.1

発行人：永田泰弘
nagataya@jcom.zaq.ne.jp

平城京天平行列の美的特徴

2022 年 5 月 3 日に、春の平城京天平祭が平城宮跡で挙行された。朱雀大路から朱雀門まで、7 名の歴代天皇と貴族が練り歩いた。

その天平行列の美的特徴は、特に衣装に表れていた。衛士隊（宮内警護隊）と兵衛隊（天皇付き警護隊）の先頭で進行し、雅楽隊、胡蝶、文武百官が続いた。文武百官は、階位によって着用できる服の色が異なり、身分の高い順に、紫・赤・緑・青の順になっていた。

その衣装は、遣唐使が持ち帰った唐の衣装を模して作られているとのことであった（小冊子「平城京天平祭（2022 年春）」を参照）。

その後に、白地の熊旗・鷹旗が続き、宝冠を被り、男性の天皇と同じ白色の礼服を着た元明天皇（707-715 年）が続いた。

行列の前半の衣装は、高松塚古墳壁画の婦人像に見られる朝鮮半島より伝来した衣装を模して作られ、後半の衣装は、奈良時代に描かれた「絵因果経」という経典の女性たちの服装を参考にして作られているとのことであった。

大極殿院の南側にある正門・大極門の木部の塗装には、丹土（につち：赤茶色の土）や、白色の顔料の胡粉、緑色の緑青塗が採用されており、鮮やかであった。　（吉村耕治）

芸術祭キュレーターと色風景対談 -2

表題：国際芸術祭「あいち 2022」から学ぶアートとまちの魅力　–生きているまちを活かすアート、活かされるアート–

国際芸術祭「あいち 2022」を展開中のまちなか会場の 3 カ所を紹介します。

一宮市（毛織物）は、織姫に因んだ盛大な七夕祭りや、繊維工場のノコギリ屋根が特徴です。常滑市（窯業）には、レンガ造りの煙突、焼き物を使った道や擁壁など景観資源が髄所にあります。有松地方（絞り染）では商家や土蔵が連なる浮世絵の街道が現存します。芸術祭の見どころの他、3 会場の色風景についても対談します。

◆講師：飯田志保子氏（チーフ・キュレーター）
ナビゲーター：三木学（文筆家 / 編集者）
◆日時：9 月 13 日（火）19 時～20 時半
◆申込受付中：〆切は 9 月 10 日（土）
https://forms.gle/9b3vdu5ASWsxyP4K9
◆受講料：オンライン（z oom）
色彩学会員 2,000 円・非会員 3,500 円
◆詳細：https://color-science.jp/society/20220913_event/
国際芸術祭：https://aichitriennale.jp/
◆主催：くらしの色彩研究会・美しい日本の色彩環境を創る研究会　（祖父江由美子）

● 金色夜叉の色名 -3

女性の着物・装身具・持ち物の基本的な色名をまとめて順序を整理した一覧表を示すと白、真珠、素鼠、小豆鼠、鳩羽鼠、貴族鼠、黒、紅、紅絹、赤、淡紅色、桃色、小豆、濃小豆、葡萄茶、茶、肉色、橙色、金茶、金、黄金、消金、焼金、黄バク染、海松、勝色、鐵色、濃浅黄地、納戸、紺、紫紺、薄色、淡紫、紫、紫根の 35 種となる。

男性の着物・装身具・持ち物の基本的な色名をまとめて順序を整理した一覧表を示すと白、鼠、鼠色、瓦色、黒、小豆、茶、焦茶、金、黄金、純金、緑色、浅黄、濃納戸、藍、藍鼠、紺の 17 種となる。

人物の肌の色や髪や鬚や化粧などの基本的な色名をまとめて順序を整理した一覧表を示すと、白、眞白、稍白、淡白、蒼白、灰、灰色、浬め、黒、烏羽玉、紅、鮮紅、薄紅、微紅、花櫻の色、赤、朱、赭、茶褐色、黄、蒼、眞蒼、青、紫色の 24 種となる。

自然を描写している場合の基本的な色名をまとめて順序を整理した一覧表を示すと、白、眞白、乳白色、薄白、微白、淡白、銀、灰色、死灰の色、墨、黒、紅、赤、朱、茶、金色、黄金、黄、緑、翠、蒼、瑠璃色、青、藍、紫。26 種となる。（続く）　（永田泰弘）